

事業所名		こども発達未来スタジオippo 木原教室				支援プログラム（児童発達支援）				作成日		令和8	年	7	月	1	日	
法人（事業所）理念		「成長起点、人生にきっかけを。」																
支援方針		発達・成長の土台を“関わり”や“環境面”から整え、子どもの可能性の芽を見つけ、広げる																
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無		ありなし						
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	■「安心して生活する力」の土台づくり ・日課の中で道具や玩具の準備・片付けを経験する機会を提供する。徐々に補助の頻度を減らし、自立に向けたサポートを実施する。 ・手洗いうがいなどの感染予防動作の習慣化を促す。健康観察を行い、体調不良や不安、悩み事の早期発見と対応に努める。																
	運動・感覚	■ 身体を通して「できた」を感じる経験 ・サーキット運動やレクリエーション、ミニゲームの実施を通して、ボディイメージやバランス感覚の向上を図る。 ・運動や感覚遊びを通して「適切な力加減」を身体的に理解し、成功体験を積み重ねる。																
	認知・行動	■学びの基礎となる力を育てる ・絵本や塗り絵・パズルを通して、着席時間の習慣化を促す取り組みを行う。 ・「できる時間・課題」を初期目標に設定し、段階的な時間の延長を実施する。																
	言語 コミュニケーション	■「伝わる」「わかってもらえる」体験 ・まず、職員との一対一の関係性において、安心できる信頼関係を構築する。 ・職員が橋渡し役を担い、スモールステップで他者・集団との交流の場へと徐々に交流の範囲を拡大する。																
	人間関係 社会性	■人と関わることへの安心感 ・ルールや順番のある遊びや活動（だるまさんが転んだ、イス取りゲームなど）への参加の促しを行う。 ・「聞く時間」「話す・動く時間」を意識しながら参加できるよう、継続的な働きかけを実施する。																
家族支援		はじめて療育を利用する保護者様の想いを受け止め、共に関わり方や支援方法の検討を行う。不安や疑問を即座に相談できる体制を整え、「一人で抱え込まない」ための支援を実施する。							移行支援		就学・進級・進学等の環境の変化に向けて、家庭・学校・関係機関と連携し、子どもが安心して次のステップへ移行できるよう支援を行う。							
地域支援・地域連携		家庭・園や学校・関係機関と連携し、情報共有を大切にしながら、子どもが安心して地域で生活できる力を育む。公共施設の利用や外出体験等を通して、社会経験を広げる支援を行う。							職員の質の向上		定期的に行う全体会議や研修を通じて、職員の資質向上・支援の方向性の共有を行なっているまた、障がいへの理解・職員個人の能力向上を目的とした福祉専門eラーニングシステムを活用し、全スタッフ動画講座の受講 を必須としている。							
主な行事等		■からだであそぶ！ チャレンジデー：公園遊び・室内遊具遊び・プールなどで体と感覚を育てる。■つくって伝える！ 気持ちアート：制作活動を通して気持ちや好きなことを表現し、「伝わる」「聞いてもらえる」経験につなげる。■みんなでできるもん！ お友達とクッキング体験・工程のある活動に取り組み、見通しをもって行動する力や達成感を育てる。■ippoフレンドパーク：チームで楽しむ「協力ミッション・小集団での活動を通し、人と関わりながら一緒に取り組む経験を大切にする。■いっぽでGO：公園や地域施設での体験を通して、季節や環境への興味を広げる。																